

第1章 老人ホームは決して安住の地ではない

8

企業は甘いエサで高齢者を「釣っている」(広告や営業担当のキーワードは「安心」/見えるものだけで判断しない/老人ホームは病院ではない/社会貢献・地域貢献はかなりウソ/「終の棲家」にならない/笑顔の毎日?/住み替えは孤独な作業である)

「長生きしてもらって困る」老人ホームの仕組み(老人ホームもビジネスである/償却期間の切れ目が縁の切れ目/償却期間をどう設定しているかで見えてくること/「入院3ヶ月で退居してください」の理由/寝たきりのお客様は大歓迎?/入居者のメリットは事業者のデメリット)

釣った魚にエサはやらない(入居したら「安心」とは限らない現実/「はい、わかりました」の意味は?/施設は誰のもの?/入居前と大きく違う毎月の費用と戻らないお金/信じられないクーリング・オフの適用外/選択するホームが残りの人生を決める)

複雑怪奇な高齢者の住まい、この15年の移り変り(専門家でも頭を抱える!非常に複雑化している高齢者の住まい/公的施設か民間施設か?福祉系と住宅系の仕組みの違いは大きい/自立型と介護型/将来の介護の費用、選ぶ施設によって違います)

怪しい?施設紹介会社にご注意!

第2章 目をそらしてはいけない、老人ホーム・高齢者住宅の現実

48

「有料老人ホームなのに?」劣悪な環境(経営母体は病院「安かろう、悪かろう」/年を取れば混浴でも平気?!/すし詰め介護/職員が意識していない「拘束」/「介護型」施設に多い暴力)

これでもいいの?経営者・施設長の品格(高齢者の生活を守る施設長はもっと自覚を/経営者はお金の運用が仕事ではない)

「社会福祉法人だから安心」はありえない(高齢者の虐待は、子どもの虐待よりも密室で行われる/特養ホームなら大丈夫ですよ?「いいえ」/特養ホームの介護体制不備による死亡事件/市立の特養ホームで叩く、怒鳴る、水をかける/特養ホーム虐待「手をちぎったろか」)

本当に怖い無届ホーム(無届ホームだけが悪いとは言いつれない/施設を放棄してしまった信じられない経営者/高齢経営者が高齢者虐待?/監禁?高齢者マンション/虐待や悪環境、それぞれの意識の違い)

経営がコロコロ変わる有料老人ホーム。大企業だからといって安心できない(経営が変われば開設日も名前も変わる/1年もたずに閉鎖した有料老人ホーム/切り売りされ、マンションになった有料老人ホーム/郵便局の有料老人ホームだから安心?/「県住宅供給公社」まさかの破たん/コムスンと有料老人ホーム/全てではないが、不動産業界の強気展開の失敗/残念な東電の「もみの樹」/この話は終わらない…)

第3章 騙されてはいけない「優良誤認・誇大広告」

90

繰り返される同じような行政指導(問題のある広告・パンフレットが多い現実/有料老人ホームの懲りない面々/有料老人ホームの広告にはルールがある/あいまいな言葉は自分で排除する/ホーム広告収集を趣味にしてみる)

資産になるはずの分譲シニアマンションは「負の資産」(ケチな?関西人に大ブーム、後から気づ

いた失敗／子供から「死ぬ前に処分してくれ」といわれる高齢者たち／「資産になります」ウソじゃないけど「負の資産」？／分譲型シニアマンションと有料老人ホームの違い／本当はどっちがおトク？／『中古』分譲型シニアマンションの値段／個人の価値観次第

サービス付き高齢者向け住宅の「お粗末な」サービス（サービス付き高齢者向け住宅の「サービス」に惑わされてはいけない／税金からの出血大サービス―事業者が群がる理由／「サービス」内容は事業者まかせ／サ高住での介護のお金／高齢者住宅はプロが運営すべき）

こんな広告許されません！（広告とパンフレットは50%差し引いて見る／広告やパンフは棺桶まで持っていく覚悟で）

第4章 それでも「住み替え」がよい場合

ひとり生きていくことに適さない人（「不安」が大きい場合／ひとり暮らしという課題／モノグサな人／「死んだあとのこと」が心配な人／相続税や相続対策で悩む人／介護が必要な家族のために現地視察500ヶ所以上、「ここは」と思えた理由（組織として対応できている施設／教育の仕組みができている／ホームの建物が信頼できる／明朗会計・情報開示がきちりされている／入居者が良い／重い介護になっても大丈夫な体制）

ハッピーな老人ホーム生活もある（背景の違う二人が納得のホーム／子どもいない夫婦が最期まで頼れる場所へ、そしてお墓まで決定／「子ども近く」へ、新しい土地でも楽しめる積極性があれば／まさかの事態と2回目のホーム入居で得た終の棲家／一人暮らしの女性の安心確保）

「すべて自分の責任」と認識して住み替え先を選ぶ（他人の評価やランキングには意味がない／あまいまな探し方をしない／期待しすぎない／事業者も行政も「味方ではない」と思っておく／子どもに頼らないことが賢明／それでもきつと見つかる「自分の終の棲家」）

128

第5章 100%絶対大丈夫な見極め方はない！でもちよつとポイントを

かなりの確率で見抜ける経営状況のチェック方法（ズバリ入居率／長く住んでいる人が多い／従業員

の離職率が低い／運営懇談会の開催数と内容／これらの情報は重要事項説明書からも見えてく

る）

「他の施設も見ましたか？」が言えるかどうか（入居決定に「待った！」をかける事業者／「もう部屋がなくなりますよ」というところは、危険信号／特典に騙されない／できないことは「できな」と言えるか）

「その態度、どうでしょう」と思うこと（老人ホーム営業のウラ側／突然家にやってきた老人ホーム営業担当／老人ホーム入居者1人で100万円）

五感と第六感を研ぎ澄ます（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚を使う／最後は自分の直感（第六感）を信じることも大切）

171

まごころ

もも編集室の情報発信

203

206